

保健だより

2013年6月1日（土）発行

毎年6月4日～10日までの「歯の衛生週間」が本年度から「歯と口の健康週間」という名称に変わりました。今回は虫歯菌についてお話しします。

〒252-0326 相模原市
南区新戸5195-4
サンガこども園
電話046-255-0148



子どもの歯と虫歯菌

～虫歯菌の親子感染～

生まれたばかりの赤ちゃんの口の中には虫歯菌はいません。虫歯菌がいなのまま大きくなれば、虫歯で苦労することもないのです。

ところが3歳児の50%以上の子どもに虫歯があります。ではいつごろどのようにして虫歯菌が住み付いてしまうのでしょうか？

それは、いつも身近にいるお母さん、お父さんからもらってしまうことが多いのです。赤ちゃんが使うスプーンをうっかりなめていませんか。同じお箸と一緒に食べさせていませんか。こんなところからご両親の虫歯菌が赤ちゃんの口の中に移っていきます。又、犬や猫等のペットからの感染も報告されています。



～虫歯菌の感染予防～

何でもなめてしまう赤ちゃんですからすべての感染を防ぐことは不可能です。でもできる範囲で実行していきましょう。感染源である周りの人たちの口の中の虫歯菌をなるべく少なくしましょう。それにはお母さんやお父さんが・・・

- ① 虫歯の治療や歯のクリーニングをする。
- ② 歯磨きを徹底する。
- ③ 虫歯菌は唾液を介して感染しますので、スプーン、箸、ペットボトルなどの共用はしない。

1歳7ヶ月～2歳7ヶ月までの期間が最も感染しやすいと言われています。それは虫歯菌は歯が無いと定着しないからです。1歳7ヶ月ごろになると虫歯菌の定着できる歯がある程度そろってくるから感染してしまうのです。特に奥歯が定着場所として最適であるようです。

紫外線の予防法

子ども達は外遊びが大好きです。今の時期でも紫外線を浴びる機会は多く、気をつけなければなりません。紫外線は「しわ」の原因になったり、皮膚がんの発生を招きます。そこで、どうすれば紫外線の害からお子さんを守ることができるのでしょうか。

- ① 夏以外にも4月～6月頃も多く、時間帯は午前10時～3時までの間が多いので、この時期や時間帯をなるべく避ける。
- ② 海水浴など1日で日焼けするようなことはしない。
- ③ 帽子をかぶり、日焼け止めクリームを塗る。
- ④ コンクリートの照り返しのあるような場所は避ける。
- ⑤ 木かげで遊ぶ。



【出典・画像：ウェザーニュース紫外線情報】

※日焼け止めクリームは1歳未満では安全性が確立されていません。1歳以上で湿疹等がない皮ふに塗ることが望ましいとされています。（「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」平成23年3月 厚生労働省より）